

磯部地区

地域づくりプラン

百川：とつこ岩



藤崎：はだか胴上げ



大洞：冬季運動会



仙納：さいの神



徳合：10月桜



筒石：みそぎ



【はじめに】～地域づくりプラン策定にあたって～

磯部地区は、近年、著しく少子高齢化が進み、特に若者の流出は顕著になっています。これを克服し、若者が住み続け、こども達は郷土に誇りを持ち、住み慣れた磯部の地でいつまでも元気に、楽しく住み続けられる為にはどうすればよいのか。住民主体による自立と協働の地域づくりを目指し、地域づくりプランを策定しました。

プランの策定には、平成25年から4回にわたり磯部地区協議会で議論を重ね、平成28年4月の1回目から11回にわたりプラン策定委員会（通称：磯6クラブ）を経て、磯部地区の進むべき将来を検討してきました。

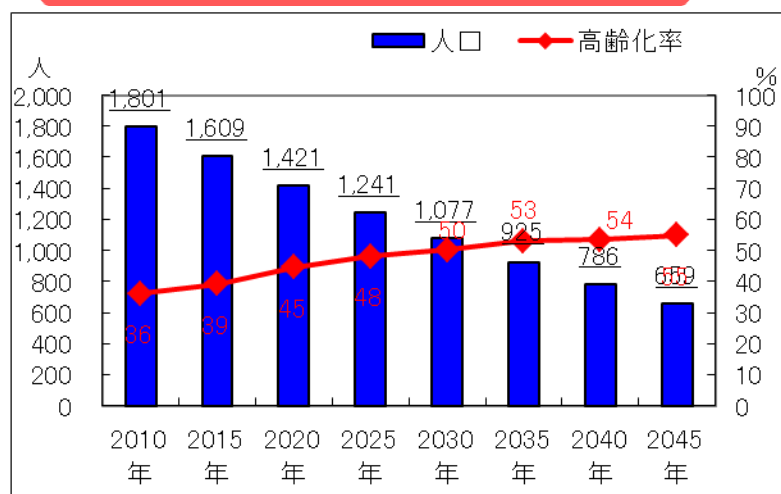
磯部地区の概要

平成29年3月31日現在

◆人口	1,514名	◆集落数	6集落
◆世帯数	548世帯	◆集落名	筒石、徳合、仙納、大洞、藤崎、百川
◆高齢化率	40.4%(H28.4.1)		

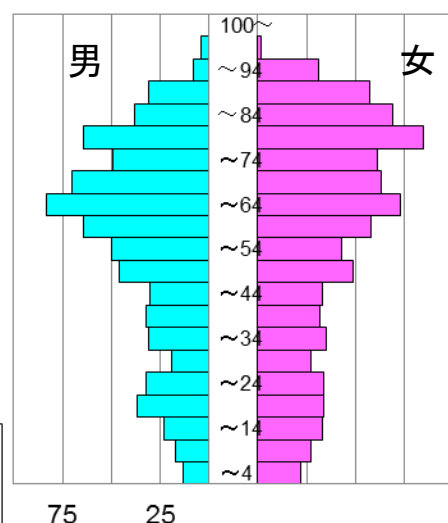
※参考 昭和42年4月の人口・世帯数（S42⇒H29の間に、人口は56%減少）
 ・筒石1,421名、276世帯・徳合547名、117世帯・仙納(空熊新田含む)295名、54世帯・大洞317名、65世帯・藤崎540名、115世帯・百川349名、71世帯 磯部地区計3,469名、698世帯

磯部地区の人口推移予測

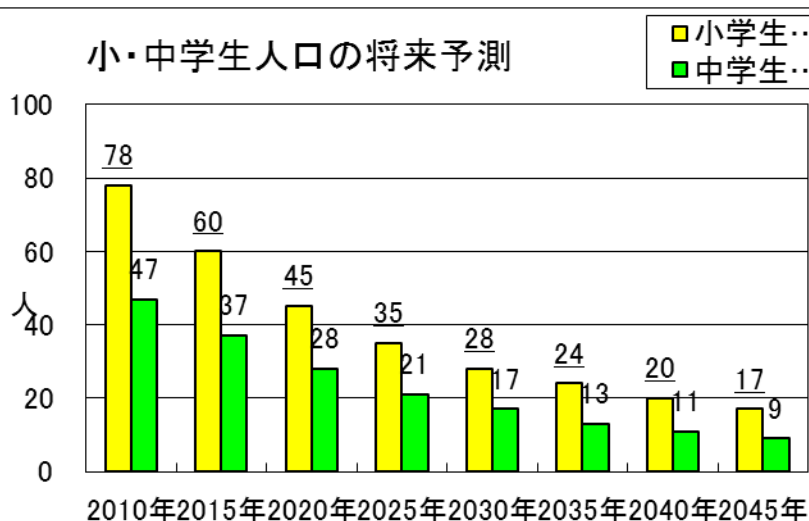


磯部地区の人口ピラミッド

2015年人口ピラミッド



小・中学生人口の将来予測



少子高齢化が急激に進み、推計では、今後15年でこども達の人数は、半減、総人口も3割減ることが予想されます。

特に若者の流出が懸念されます。

地域づくりプラン策定の経過

平成25年～27年 磯部地区協議会議論 4回

平成28年4月 第1回地域づくりプラン策定委員会
 同年9月 新潟市越前浜視察
 同年12月 第10回地域づくりプラン策定委員会

◎協議会 4回、策定委員会11回、視察1回



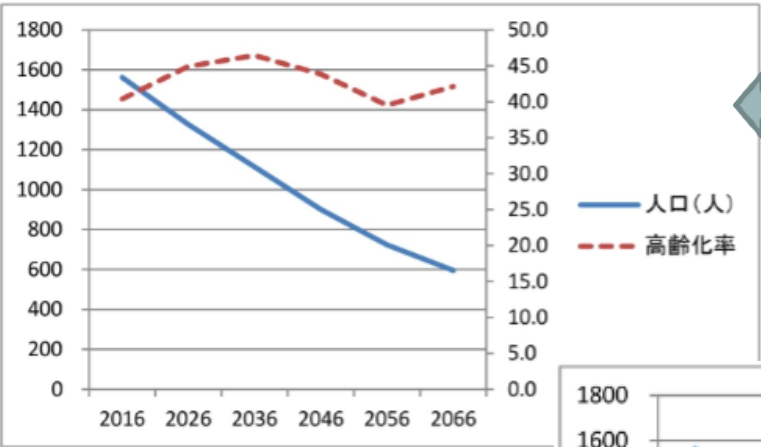
現状・課題

まずは、現状と課題を洗い出しました

	好ましい現状	気になる現状
住民性	● 絆が強く、みんな家族の様 ● 子どもを大切にする ● 助け合いの精神が強い	● 打算的(経済的利益や権利を重視) ● 女性の意見が聞こえない
人口と交流	● 集落ごとの行事が盛ん ● 伝統的な祭りがある(鳥追い、塞ノ神、神楽など) ● 駅伝が強い	● 人口(子ども・若者)の減少 ● 中学校がない ● 未婚者が多い ● 一人暮らしの高齢者が増えている ● 歴史や伝統が活かされていない ● 集落間の交流が少ない ● 世代間の交流が少ない ● 気軽に集まれる場所がない
自然環境	● 海山の豊かな自然がある ● 食べもの(米・水・山菜など)が豊富でおいしい	● 豊かな自然や景観が活かされていない ● 地滑り地帯である ● 風が強い
産業	● 農業や漁業が盛ん ● 農地が余っていて使い放題 ● 夏は多くの人が遊びに来る	● お店がない ● 遊ぶ場所(お金が落ちる場所)がない ● 新幹線はほぼ素通りの状態である ● 海産物の直売所がない ● 耕作放棄地が多い ● 獣害が発生している
生活環境	● 食べものをおすそ分けしてもらえる ● 土地が安い ● 空き家があり、外からの受け入れが可能 ● 上越市・糸魚川市のどちらにも行ける ● めずらしい筒石駅がある	● 地元に仕事が少ない ● 公共交通の便が悪い(子どもの送迎やお年寄りの買い物など) ● 空き家が増えている ● 病院がない

将来人口予測

人口流出を抑える努力をすれば、まだ間に合う

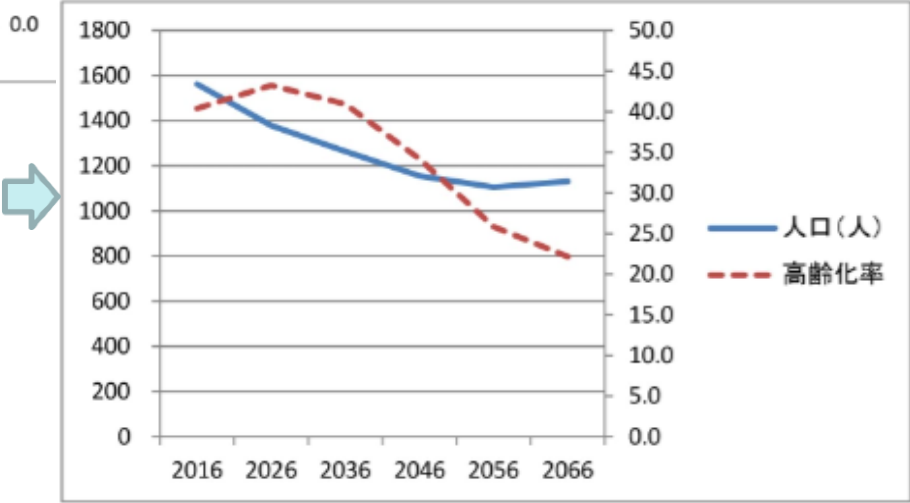


今までと変わらず、成り行きの推移すると・・・50年後は

- ・高齢化率は、45%を超える
- ・人口は今の半分以下に！

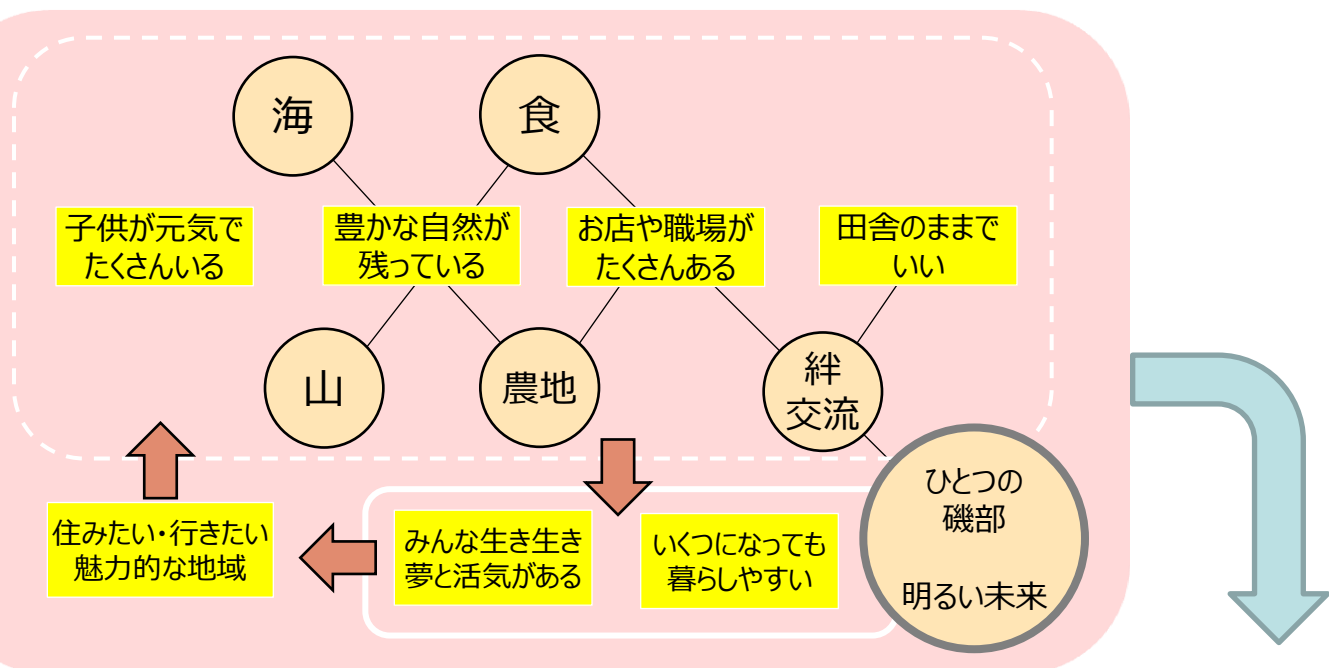
若者を子ども達を地元に残し、Uターンや移住者受け入れ等の定住人口を増やす努力をすれば

- ・高齢化率は、45%をピークに下げ止まり、改善されていく
- ・人口は今の7割で下げ止まり、改善されていく



現状・課題、人口予測から視えたこと

- ・磯部地区は、市内でも高齢化率が高い地区で、特に近年の若者流出は著しい
- ・今からでも若者流出を防ぎ、定住人口を増やす努力をすれば、改善できる



住みたい！行きたい！育てたい！
みんな大好きわくわく磯部

将来像

5つの活動テーマを設定

目指す将来像

- ・ 磯部地区住民同士の交流が盛んになっているだろう
- ・ 郷土への愛着が今よりもっと育つだろう
- ・ 農業や漁業が盛んに営まれているだろう
- ・ 地元の物産を売るお店が出来ているだろう
- ・ 豊かな自然が残され、生かされているだろう
- ・ 来訪者との交流が盛んになっているだろう
- ・ 移住者が増えているだろう
- ・ 高齢者福祉がもっと充実するだろう
- ・ 買い物や移動に困らなくなっているだろう

成り行きの未来

- ・ 人口減少や高齢化が加速し、地域が衰退しかねない
- ・ 子どもが減り、複式学級が増えかねない(廃校になりかねない)
- ・ 空き家が増え、家々が取り壊されてしまいかねない
- ・ 鉄道もバスもなくなりかねない
- ・ 6つの集落のつながりが少ないままになりかねない

このギャップを埋めるには

活動テーマ

6つの集落が
力を合わせ
地域愛を育む

地区外の人々
と交流し、磯
部のファンを
増やす

地域が誇る
農業と漁業を
守り育てる

移住を促進し
、地域の活力
を高める

安心・快適に
暮らせる仕組
みをつくる

事業の目的

住民や地区出身者が一緒に楽しめる場づくりを通し、
地域の交流を図る

めざす 未来像

磯部地区住民同士の交流が盛んになっている
郷土への愛着が今よりもっと育っている
豊かな自然が残され、生かされている

事業の概要

毎年一回お盆の期間中に、小学校のグラウンドを利用して磯部地区全体の祭りを実施することで、6集落住民や帰省者らが集い、交流できる場を創出する。

シャトルバスの運行や
飲食券の配布等により
集客を図る



活動内容②

【産業部会】舟小屋商店街

事業の目的

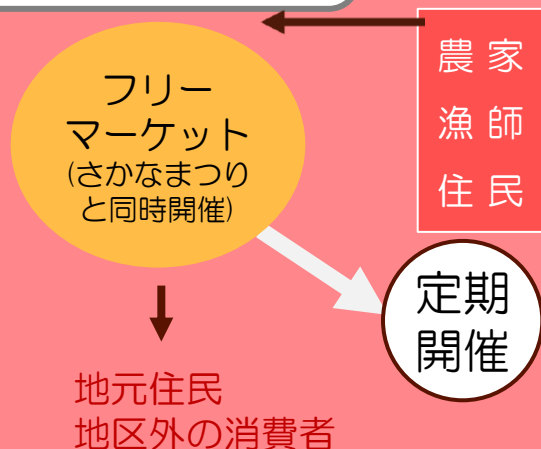
漁師や農家、地域の住民が商品を持ち寄り、売る楽しみや
買う楽しみを分かちあい、田舎暮らしをもっと楽しむ

めざす 未来像

農業や漁業が盛んに営まれている
地元の物産を売るお店が出来ている
豊かな自然が残され、生かされている

事業の概要

舟小屋を活用してフリーマーケットを開催し、持ち寄りの海産物や農産物、不用品を売買する場をつくる。当初はさかな祭りと同時開催とし、何れは定期開催とする。地区内外の交流を活性化すると共に、磯部の魅力を発信する場としても活用する。



事業の目的

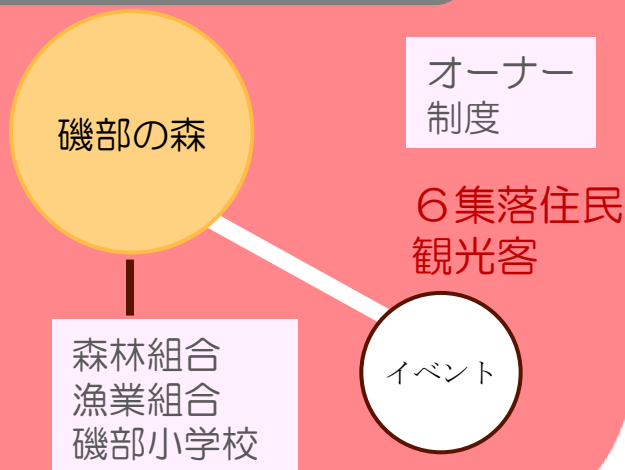
体験型観光地の構築を通し、
交流人口の拡大と磯部6集落の結束を図る！

めざす
未来像

磯部の魅力が社会に認められ、来訪者との交流が
盛んになっている
豊かな自然が残され、活かされている

事業の概要

集落間を越えた共同作業や管理組織
の結成により、城ヶ峰周辺での樹木
（山桜、カエデ、ブナなど）の植栽
を行う。樹木のオーナー制度や森を
活用したイベントの開催により観光
客の巻き込みを図る。



事業の目的

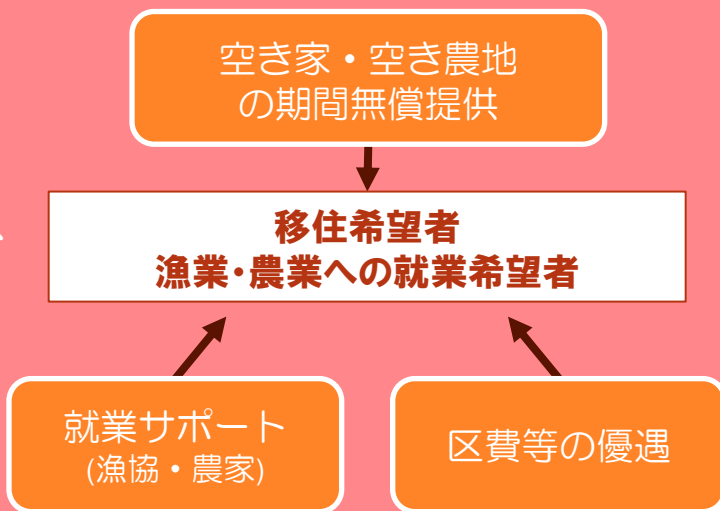
磯部地区の定住人口の増加を図る

めざす
未来像

若い世代を中心とした移住者が増えている
空き家が活用される仕組みが出来ている

事業の概要

農業・漁業への就業などの移住希望
者に対し、期間を定めた空き家・空
き農地の無償提供や、区費の無料化、
就業サポートなどのサービスを提供
する。さらに、市の移住促進事業も
活用し、若い移住者の住居取得を後
押しする



事業の目的

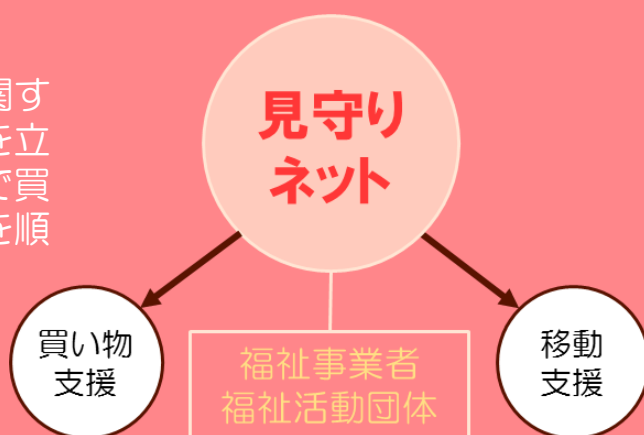
一人でも、認知症になっても
暮らしていける安心のまちづくり

めざす 未来像

高齢者福祉がもっと充実する
買い物や移動に困らなくなっている

事業の概要

まずは6集落の高齢者見守り体制に関する情報を共有する「見守りネット」を立ち上げ、課題を明らかにし、その上で買い物支援や移動支援などのサポートを順次充実させていく。



事業の目的

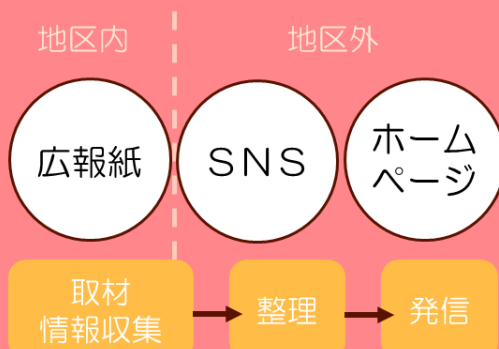
磯部地区の情報を地区内で共有すると共に、
外に向けて発信する

めざす 未来像

6集落の情報を共有し、地区としての一体感ができる
磯部の魅力を地区外に発信するための仕組みができる

事業の概要

地区内に対しては広報紙を月一回のペースで発行し、その取材を通して得た情報を整理して、ホームページやSNSを用いて地区外への情報発信を行う。また、磯6クラブ各部会や学校の児童らの協力も得て内容を充実させていく。



年度別事業予算

プランの対象期間は、平成29年度～33年度

収 入

(千円)

費 目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合 計
市補助金	677	660	645	630	600	3,212
自己財源	88	210	285	485	535	1,603
合 計	765	870	930	1,115	1,135	4,815

支 出

(千円)

活動名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合計
地域交流部会	200	210	225	245	250	1,130
産業部会	80	95	105	120	125	525
観光交流部会	110	150	145	250	255	910
移住促進部会	55	60	70	85	85	355
福祉部会	100	120	135	150	155	660
情報発信部会	120	135	150	165	165	735
全体管理費	100	100	100	100	100	500
合計	765	870	930	1,115	1,135	4,815

活動推進体制

活動を推進するため、地区協議会内に“磯6クラブ”を設置します。磯6クラブは、活動を実施する部会を設け、団体間が連携しながら、磯部地区全体の振興に寄与します。

【磯部地区協議会】

役員会

事務局（公民館）

区長会

各集落

情報共有・連携

磯6クラブ

集落支援員

観光交流
部会

産業
部会

地域交流
部会

福祉
部会

情報発信
部会

移住促進
部会



磯部地区のfacebook
(フェイスブック) やってます。
磯部を皆で発信しましょう♪
アカウントは【アンテナ磯6】

住みたい！行きたい！育てたい！

みんな大好きわくわく磯部

磯部地区協議会 【磯6クラブ】

事務局：磯部地区公民館（〒949-1306 糸魚川市筒石355-1）

☎567-2092

✉ isobeko@bz04.plala.or.jp